

さんこう きほんこうそうさくてい けいい  
(参考) 基本構想策定の経緯

しみんさんかく きほんこうそう  
~ 市民参画でつくった基本構想 ~



だい しょう きほんこうそうさくてい  
**第1章 基本構想策定のしくみ**

本基本構想は、「吹田市交通バリアフリー基本構想策定委員会（以下、委員会と記す）」を諮問組織として検討を進めました。委員会は、学識経験者をはじめ、鉄道・バス事業者、吹田市の各関連部門の職員、および高齢クラブや障害当事者、市民の代表の方などの委員28名と、オブザーバー1名から構成されています。

また、市民の要望にかなう質の高い交通バリアフリー化を進めるためには、基本構想の検討段階において、市民の皆様と共に考えていくことが重要であるという認識のもと、「千里山・関大前地区ワークショップ」「南千里地区ワークショップ」をそれぞれ開催し、多くの市民の皆様の意見を反映してきました。

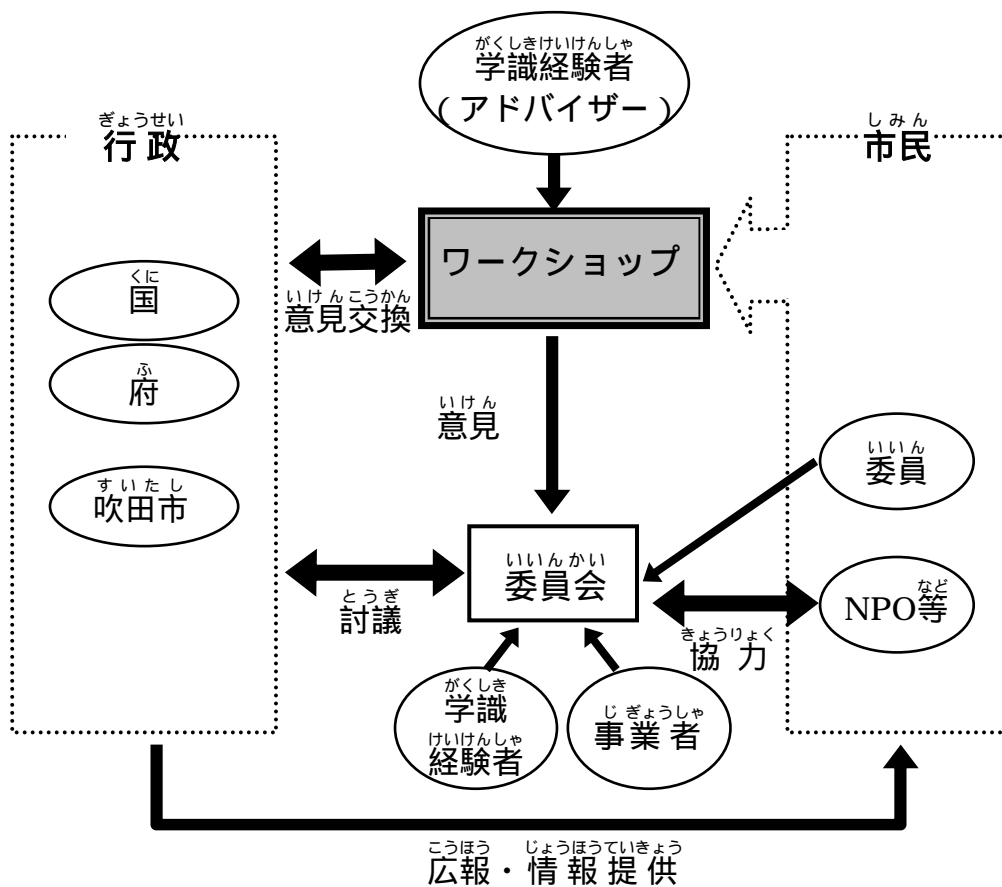


図1 基本構想策定のしくみ

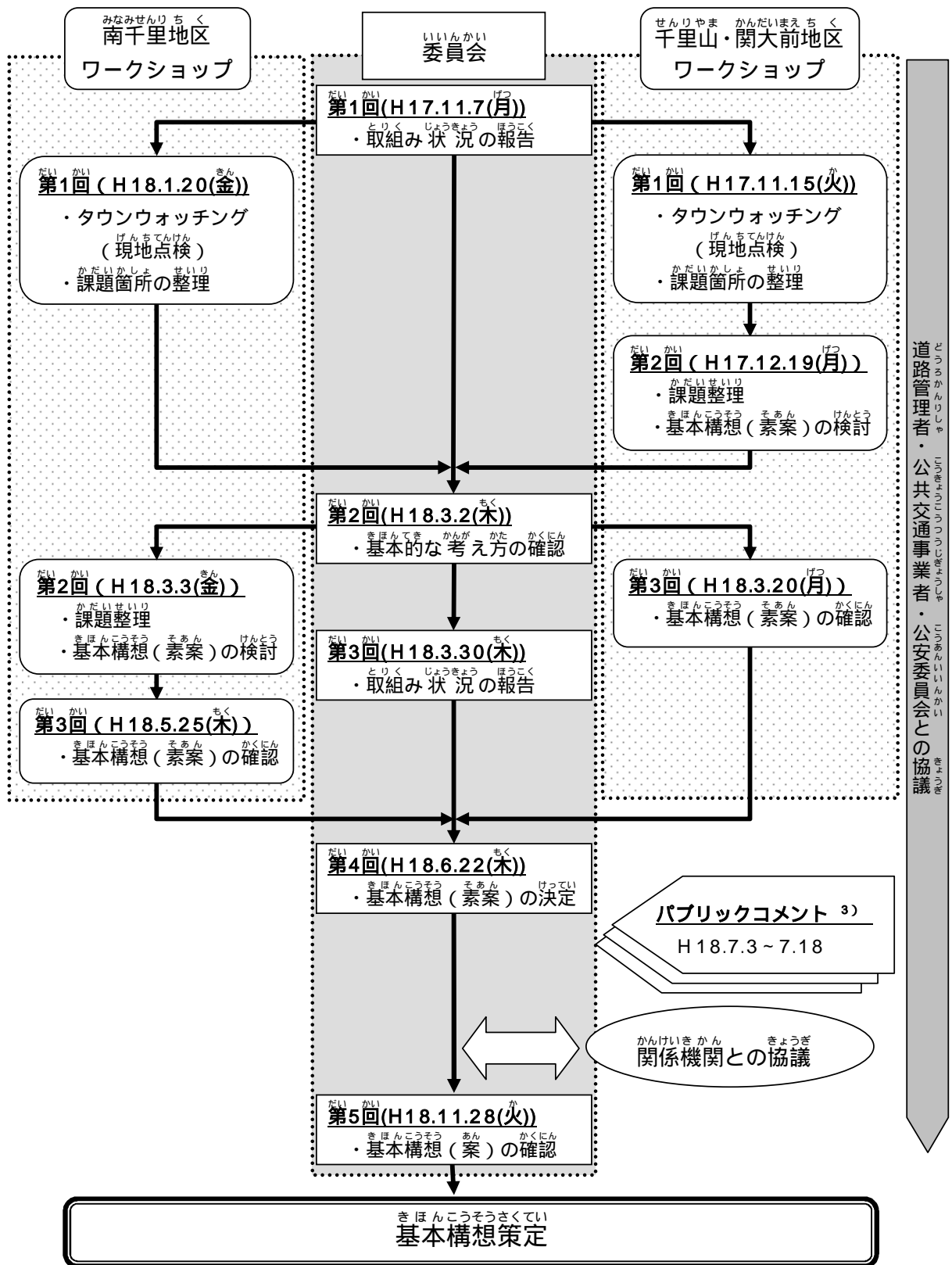


図2 基本構想策定の経緯

3) パブリックコメント

政策の立案や規制の設定等を行う際、案を公表し、この案に対して広く一般市民の皆さまから意見や情報を求め、それを考慮して意思決定を行う制度。

ひょう すいたし こうつう きほんこうそうさくていいいんかい いいんめいほ へいせい ねん ねん がつげんざい  
 表1 吹田市交通バリアフリー基本構想策定委員会 委員名簿(平成18年(2006年)12月現在)

	氏名	役職
委員長	新田 保次	大阪大学大学院 工学研究科 教授 (地球総合工学専攻 社会基盤工学コース 交通システム学研究室)
副委員長	永田 昌範	吹田市自治会連合協議会 会長
委員	岡田 明	大阪市立大学大学院 生活科学研究科 教授(人間工学)
"	斉藤 弥生	大阪大学大学院 人間科学研究科 助教授(高齢社会研究)
"	関 信行	吹田市高齢クラブ連合会 会長
"	青山 孝司	吹田商工会議所 代表
"	松尾 亜里	男女共同参画推進員
"	佐々木 和子	社会福祉法人 吹田市社会福祉協議会
"	大江 卓司	バリアフリー吹田市民会議
"	田中 捷介	バリアフリー吹田市民会議
"	長井 敬二	バリアフリー吹田市民会議
"	廣瀬 弥生	介護又はボランティア経験のある公募市民
"	大仲 里美	子育て中の方又は子育ての経験のある公募市民
"	橋元 正己	国土交通省近畿運輸局 交通環境部 消費者行政・情報課長
"	川上 隆	大阪府茨木土木事務所 建設課長
"	神前 邦和	大阪府吹田警察署 交通課長
"	藤田 直一	大阪市交通局 総務部 企画課長
"	林田 弘幸	北大阪急行電鉄株式会社 鉄道部 施設課長
"	神谷 昌平	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 鉄道技術部 副部長
"	中村 智	西日本旅客鉄道株式会社 京都支社 総務企画課長
"	角 洋介	阪急バス株式会社 自動車事業部 管理課長
"	外賀 卓郎	大阪高速鉄道株式会社 運輸部 業務課長
"	富田 雄二	吹田市 助役
"	山中 久徳	吹田市 企画部 部長
"	福井 登志宏	吹田市 市民文化部 部長
"	松田 義行	吹田市 福祉保健部 部長
"	阪口 純一	吹田市 都市整備部 部長
"	稲田 智彦	吹田市 建設緑化部 部長
オブザーバー	三浦 富士夫	大阪府 住宅まちづくり部 建築企画課 課長補佐

ひょう かくちく ワークショップアドバイザー(平成18年(2006年)12月現在)

	氏名	役職
千里山・ 関大前地区	土井 勉	神戸国際大学 経済学部 都市文化経済学科 教授
南千里 地区	北詰 恵一	関西大学 工学部 都市環境工学科 助教授

### 第1回ワークショップ

開催日時：平成17年（2005年）11月15日（金） 14:00～17:00

参加人数：88名（うち市民：48名）

概要：千里山駅、関大前駅や道路の点検調査(タウンウォッチング)を行った後、調査で気づいた課題等についてのグループ討議(ワークショップ)を行いました。  
「関大前駅」のバリアフリー化、歩道の改善、迷惑駐輪の解消が求められていることがわかりました。



### 第2回ワークショップ

開催日時：平成17年（2005年）12月19日（月） 19:00～21:00

参加人数：60名（うち市民：32名）

概要：千里山・関大前地区基本構想(素案)として、千里山・関大前地区の基本的な方針、主な施設・主な経路、重点整備地区の範囲等を検討しました。主な施設・主な経路への追加要望、関大前駅のバリアフリー化、歩道整備、迷惑駐輪問題についてのご意見をたくさん頂きました。



### 第3回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）3月20日（月） 19:00～21:00

参加人数：43名（うち市民：19名）

概要：これまでのワークショップ等での意見を反映した千里山・関大前地区基本構想(素案)について説明を行い、質疑応答を行いました。バリアフリー化は地域の住民のために行ってほしいということ、整備の優先順位や予算を明確にしてほしい等のご意見を頂きました。



3回のワークショップを通じて、関大前駅のバリアフリー化整備、迷惑駐輪の解消、具体的な整備の実施についてのご意見を多く頂きました。

図3 千里山・関大前地区ワークショップ開催の経緯

### 第1回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）1月20日（金） 14:00～17:00

参加人数：58名（うち市民：24名）

概要：南千里駅や道路の点検調査（タウンウォッチング）を行った後、調査で気づいた課題等についてのグループ討議（ワークショップ）を行いました。障害者の方々と一緒にまちを歩くことで、歩道や駅舎にバリアが多いことがわかりました。



### 第2回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）3月3日（金） 19:00～21:00

参加人数：40名（うち市民：14名）

概要：南千里地区基本構想（素案）として、南千里地区の基本的な方針、主な施設・主な経路、重点整備地区の範囲等を検討しました。主な施設・主な経路への追加要望、施設の出入口のバリアフリー化についてのご意見をたくさん頂きました。また、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」と連携をとりながらバリアフリー化を進めていくことを、基本構想に記載することとしました。



### 第3回ワークショップ

開催日時：平成18年（2006年）5月25日（木） 19:00～21:00

参加人数：36名（うち市民：15名）

概要：これまでのワークショップ等での意見を反映した南千里地区基本構想（素案）について説明を行い、質疑応答を行いました。バリアフリー化についての具体的な整備方針や、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」と連携をとりながらバリアフリー化を進めていくこと等のご意見を頂きました。



3回のワークショップを通じて、具体的な整備方針や「南千里駅周辺まちづくり懇談会」との連携によるバリアフリー化についてのご意見を多く頂きました。

図4 南千里地区ワークショップ開催の経緯